



# 夏に黄色の大きな花が咲く一輪ギク 「愛知夏黄1号」を開発

## 開発の背景・ニーズ

6月から9月に出荷されるキクは、花を咲かせるために日照を短くする処理や、一輪の大きな花を咲かせるために余分な蕾（つぼみ）を除く作業が必要でした。県内産地では、近年の夏の猛暑により、開花の遅れや作業の大変さが問題となっており、これらの問題を軽減し、切り花としての高い商品性を持つ品種の開発に取り組みました。

## 成果の内容

愛知県花き温室園芸組合連合会きく部会と共同して、平成15年に、花の径は大きい形に難のある品種と、花の径は小さいが余分な蕾が出にくい品種を交配し、その後、選抜、試作や市場評価を行って、高温長日の条件下でも大きい黄色の花が咲く「愛知夏黄1号」を開発し、平成21年3月に品種登録出願しました。

### 特長

- ・花は濃黄色で、花径が大きく、咲き始めから花型が優れています。
- ・高温長日条件下でも早く開花するため、ほ場を効率的に利用できます。
- ・除去する蕾や腋芽が少ないため、作業労力を減らすことができます。
- ・葉には光沢があり、立葉で切り花時の取り扱いが容易です。
- ・茎葉にボリュームがあり、切り花長、切り花重の確保が容易です。



「愛知夏黄1号」の満開時切り花

## 愛知県農業への貢献

夏に咲く業務用の黄色一輪ギクとして、夏の猛暑でも安定生産できること、また、市場でも切り花にボリュームがある点で高い評価が得られていることから、県内産地から大きな期待が寄せられており、産地の振興に大いに貢献できます。